

Dr.ひろみの

ハッピー子育て

か る た

ひろみ



みなさん、こんにちは！ 最近、英日翻訳者の小竹由美子さんと知り合いました。子どもを3人育てながら、主婦の英語勉強会で学び始めたのがきっかけだそうです。留学経験もなく英語もあまり話せないのに、好きだった児童文学を翻訳して出版社に持ち込み、仕事につながったというお話がとても印象的でした。子どもの会話文の翻訳が一番難しいというのも驚き！ 彼女のお気に入りの本屋「ルヌガンガ」にあるカフェコーナーでハーブティーをごちそうになりながらのおしゃべり。素敵な週末でした。



☆読み手☆
鈴木 裕美 (すすき ひろみ)
香川大学医学部 小児科専門医

56

のこりの2割で
がんばっていること
わかっているから
休みなさい



55

もくひょう
普通でいること
嫌われないこと
これにエネルギーの8割
もってかれる



今月のかるた解説

今の子どもはネットにさらされているので、何か失敗すると一挙に広まり、被害は甚大です。私が子どもの頃は、言いたい放題やりたい放題、粗相があっても、噂で広まって大変なことになることはないし、家に帰れば人の目を気にせず、安心して過ごせたように思います。人との関係にこころがすり減るといったことが今より少なかった。

ところが現代はいつも見られ、評価されるように感じ、攻撃されることに敏感になっているように思います。自分のこころを守るために、「普通でいる」「嫌われないようにする」ことに、とても神経をすり減らし、こころのエネルギーを使っています。それでなくても思春期は、他人の目が気になり、人と比べて落ち込んだり、自分を責めて苦しい思いをしています。

そんないっぱいいっぱいな子どもに残された、ほんの少しのエネルギーを使って、学校で、家で頑張っているのです。朝起きて、学校まで歩き、授業を受けた後、部活をし、宿題をして、風呂に入ること。もう、あなた、十分頑張ってる。だから少しは休みなさい。いやいや、どうぞたくさんお休みください。大人よりも絶対疲れてますって。

